



㊦友達と協力して自分たちでご飯を作る ㊧町内の史跡を巡る ㊨おもしろ自転車に乗って、友達と楽しい時間を過ごす

### 思い出いっぱいの3泊4日 まさきっ子体験合宿

「まさきっ子体験合宿」は8月8日から11日までの4日間、文化センターで行われ、町内の小学生11人が参加しました。

体験合宿中、文化センターで過ごした子どもたちは、食事や洗濯も自分たちで行いました。慣れない家事に戸惑う子もいましたが、一緒に参加した友達と協力し合い、一つ一つの家事をこなしていきました。それ以外にも、町内の史跡を巡って町の歴史を学んだり、砥部町に出掛けて流しそうめんやおもしろ自転車を楽しんだりするなど、友達との交流を深めました。

閉所式では、自分たちで4日間をやりきった達成感から満足した表情を見せた子どもたち。体験合宿を通じ、チャレンジしてみることや周りとの協力し合うことの大切さ、両親や周りの人々への感謝の気持ちを持つことなど、多くのことを学ぶとともに、忘れられない夏の思い出を作っていました。



### 町内のスポーツ少年団が交流 スポーツ少年団交歓会

「平成27年度第1回スポーツ少年団交歓会」は6月6日、松前公園で開催され、交流試合を通して各地区のスポーツ少年団の交流が深められました。

競技は、ミニバスケットボールを実施。6年生がリーグ戦を行い、白熱した試合を繰り広げました。結果は次の通りです。

優勝 北伊予 準優勝 岡田

### 延べ3万人が来場 まさき町夏祭り・前夜祭

「まさき町夏祭り」は8月1日、松前公園と塩屋海岸で開催されました。

前日に行われた前夜祭も含め、各会場はたくさんの笑顔があふれていました(はんぎり競漕は特集で掲載)。



1\_前夜祭のカルタ大会。その札、譲れない 2\_前夜祭の「のど自慢・腕自慢の集い」。おばあちゃんと一緒に楽しく歌おう 3\_子どもフェスタでの金管バンド演奏。軽快な音楽でリズムに乗る 4\_餅まき。「こっちに投げて」 5\_みんな笑顔で楽しく踊り続ける 6\_「みんな踊ろうよ 輪になって なもしまさきはよいところ」 7\_踊りだけでなく、仮装にも注目。マリオがはんぎりに乗って登場 8\_フィナーレは花火が夜空を彩る 9\_衣装も、踊りも、笑顔も息ぴったり



### えひめ国体の開催をPR 顔出し看板の設置と役場の車の活用

愛顔つなぐえひめ国体松前町実行委員会は、2年後に開催される「えひめ国体」を多くの人に知ってもらおうと、7月6日、役場前にマッキーとみきゃんの顔出し看板を設置しました。

看板は、本町で開催されるホッケー、ボクシング、ライフル射撃(CP)をモチーフにした3種類です。町内外の行事にも貸し出しをして、開催のPRを行っています。

さらに、役場の車には、開催競技PRマグネットを貼りました。今後もこれらを活用し、えひめ国体をPRしていきます。



まさき首頭の結果  
優勝 大間ありあけ連  
準優勝 社協連  
3位 婦人会&ボラ連  
殊勲賞 北伊予小学校PTA  
敢闘賞 松前町民生委員児童委員協議会  
仮装賞 北伊予小学校PTA  
2位 北伊予中学校PTA  
3位 松前中学校PTA  
MVD賞 丸田信子  
(婦人会&ボラ連)



## ようこそ、まさき町へ

まつまえ・まさき姉妹都市ふれあい交流事業

姉妹都市である北海道まつまえ町の児童10人が、ふれあい交流事業の一環として、7月27日から29日まで本町を訪れました。

空港で初めて顔を合わせ、お互いに緊張した表情を見せていた児童たちも、最初の目的地である子規記念博物館を訪れたときには、すっかり笑顔に。交流を楽しみながら、愛媛の文化を学んでいました。

2日目には、両町の児童19人で白石町長と本馬教育長を表敬訪問し、交流事業やまさき町を訪れての感想などを話しました。その後、エミフルMASAKIに移動し、ショッピングと夕食をみんなで楽しみました。

その他にも、とべ動物園見学、道後散策などを通じて愛媛の文化に触れ、さまざまな体験を共有することで、1,500キロ離れた友人との絆を深めていました。

12月にはまさき町の児童が、まつまえ町を訪問する予定です。お別れ式でも「冬のまつまえが楽しみ」と、まさき町の児童が話すなど、双方の児童が笑顔で握手を交わし、まつまえ町での再会を誓いました。



㊦初日の子規記念博物館見学。一緒に愛媛の文化を学ぶ ㊧2日目の砥部焼絵付け体験。思い思いに絵筆を進めていく



㊨庁舎にて、みんなで記念撮影 ㊩すっかり打ち解けた2日目の食事交流会 ㊪最終日の松山空港にて。再会を誓って握手する



㊫ビオトープ「エミフル」で植物を観察する知事と町長 ㊬庁舎で開かれた意見交換 ㊭(株)まさき村では町特産品を視察



## 松前で知事が住民と意見交換

知事とみんなの愛顔でトーク

地域の意見や要望を県政に反映させようと、中村時広知事が直接出向き、現地視察などを交えて住民と意見交換する「知事とみんなの愛顔でトーク」は7月24日、本町で開かれました。

現地視察では本町を中心に、(有)あぐり、(株)オカベ、(株)まさき村、ビオトープ「エミフル」、ファンガーデン(株)を訪問。昼食は、ネットで町制60周年を記念して作られた「松前つけ麺」を食べました。知事は「まず松前町の人を知ることが大事」と話していました。

視察後、本町の役場に移動し、松山、伊予、松前の3市町の農林水産業やまちづくり活動に携わる住民11人と意見交換をしました。そこで、子育て施策や交通安全対策などを話し合い、よりよいまちづくりについて議論を深めました。

